



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を
一人一人が輝く子どもの姿を求めて

☆2月の目標

- ☆学習をがんばろう
- ☆みんなと
なかよくしよう
- ☆笑顔で
あいさつしよう

☆配布物のお知らせ

- 1 学校便り

☆今後の行事計画

- 1月20日 避難訓練
- 2月10日 入園説明会
- 3月17日 卒園式・卒業式
- 4月14日 入園式・入学式

☆四年二組 プラタナスの木」を読んで

日置 珂允

ある日、おじいさんがアーちゃんたちに木の
ことについて言ったことが不思議に思いまし
た。おじいさんは、プラタナス公園に来てプ
ラタナスの木の下にある古い小さなベンチに
すわり、マーちゃんたちに木のことをいろいろ
話しました。「このプラタナスの木がさか立ち
しているところを考えたことがあるかい。」と
おじいさんがマーちゃんたちに聞きました。ぼ
くは、木がさか立ちするというのはとても不
思議に感じました。そして、おじいさんが 木
というのには、上に生えている枝や葉をささえ
るために、土の中でそれと同じくらい大きな
根が広がって、水分や養分を送っているん
だ。」と言うのを読んで、なるほどなと思いま
した。

ぼくは、マーちゃんたちと同じように木のこ
とをあまり知らなかったから、マーちゃんたち
と少しにているなと思いました。だから、マー
ちゃんたちが木を大切にしようとした気持ち
がよく分かります。ぼくは、この プラタナスの
木」を読んで、植物やいろいろなもの大切に
したいと思いました。



☆四年二組 プラタナスの木」を読んで

宇野 太陽

マーちゃんたちがプラタナスの木が
たおれた後に、プラタナスの切りかぶ
の上に立ったところが心に残りまし
た。木がたおれた後、みんなが木のみ
きや枝になったみたいに、せいの高い
花鳥君を真ん中にして両手を広げて
プラタナスの切りかぶに乗りました。
マーちゃんたちは、プラタナスの木のこ
とをすごく考えていると思いました。
台風が来る前には、ふつうの木だと
思っていたけれど、台風で木がたおれ
た後は、プラタナスの木のことをとて
も大切に考えるようになりました。
マーちゃんたちが公園で会ったおじい
さんが、マーちゃんたちにプラタナスの
木のことを話していたから、マーちゃん
たちは、プラタナスの木にもっときよ
うみを持ったのだと思います。

家の木が強風でたおれたことがあ
ります。ぼくはびっくりしました。大
きな木なのに風でたおれてしまいま
した。いつも見ていた木がなくなっ
たから、風景はつまらなくなりました。
この物語を読む前には、プラタナスの
木はただの木だと思いました。読んで
後は、木は大切だと思うようになりました。
マーちゃんたちも同じように感じ
たと思います。



☆四年二組

三学期の目標

真瑠花

わたしの目標は、一学期で学んだ
ことを三学期でよりよく使うこと
です。

なぜこの目標にしたかというと、
二学期で学んだことが確実に覚えら
れるからです。国語に関しては、作文
を書くとき、二学期で習った漢字を
たくさん使うことで漢字を覚えるこ
とができます。算数に関しては、わり
算の筆算をふく習することです。二
学期の終わりにわり算の筆算を習い
ましたが、数字が大きくなるととき
どき計算できないことがあります。
このようにしたいだと三学期で新しい
問題をとくとき、時間がかかること
が予想されます。だから、わり算の筆
算をかんぺきに練習します。

このように、わたしは二学期で学
んだことをたくさんよく習して三学
期でそれらを生かしたいと思いま
す。



☆四年二組

三学期の目標

永井 洸太郎

多くの三学期の目標は、テストで見直しをしてケアレスマスをなくすことです。

なぜかという、一年生、二年生、三年生と四年生の前半は、ケアレスマスでたくさん点を落とすとして、あゆみせいせき表で、ケアレスマスがなければ、A(5)が取れていたかもしれないところがたくさんあったからです。しかも、今までずっと努力はしていたけれど、自分は見直しをしなくてもできると思っていたので、見直しをする意味がなかなか分かりませんでした。去年は、見直しをすることが上手でできなかったのが、問題をやる時に二回やり直しをする方法にしようと思っていまいます。今までは見直しをしたつもりでもできていませんでした。それは、これまでの方法が字を見ただけだったからです。ほかにも、問題文に「まちがっているものに丸をつけなさい。」と書いてあるのに、あっているものに丸をつけてしまったり、かけ算の筆算で立てる位をまちがえたりしました。けれど、三学期はそういったまちがいをしないようにします。このように、見直しをする意味がちゃんと分かり、しんけんに取り組みもうと思えました。



☆五年二組 ぼくが一番感謝したい人

河野 龍畝

ぼくが一番感謝したい人は、妹のあいねです。

なぜなら、すごくやさしくて、ぼくが何か必要なときやけがをした時に、一目散にかけつけてくれるからです。妹は、七才で二年生です。ちよつとおつちよこちよいな女の子だけれども、がんばり屋さんで世界一やさしい妹です。ぼくのせいでよごれてしまったところそうじするのもし手伝ってくれます。話し相手にもなってくれるし、おもしろいことをすると笑ってくれます。妹がいなかったら、きつとさみしいと思います。けんかをしているときに、ひどいことを言ったりして悪かったと思います。本当は、仲よくしたいと思っています。妹に伝えたい言葉は、ぼくの妹でいてくれてありがとうです。そしてこれからも仲よくしていききたいと思います。



☆五年二組 ぼくが一番感謝したい人

岩瀬 太良

ぼくは、命があることがありがたいと思います。ぼくが生きているのは、命があるからだと思っています。家族も命があるから生きているし、生きていけば、いい事や悪いことがあります。だから、ぼくたちは、うれしいときもあれば悲しいときもあります。ぼくがすきでないセミにも命があります。だから、ありがたいのです。せみは、ぼくにとてもはこわい存在だけど、怖いと思うのは命があるからです。だから、セミにも感謝するべきです。命がなかったら、こんなおもしろい人生もなかったと思います。一番ありがたいと思ったのは、すばらしい命を与えてくれた神様だと思います。

☆二年三組 絵日記

倉本 彩音

一月一日

お正月に、家ぞくでおせちりょう理を食べました。ちょうど食べ終わったとき、お母さんがにわにしかが一頭いるのを気づきました。その日は、わかいメスだと思っています。その日は、マイナス二十どのすごく寒い日だったので、しかが、えさをさがしているのかと思って、外に出て、長い二本、にんじん、シリアルを、おいてあげました。えさを、おいた後、雪あそびをして家に入りました。



☆二年三組 絵日記

すず木 浩之介

十二月三十日

ぼくは、クリスマスプレゼントにレゴをもらいました。十二さいからで二千八百六十七ピースもあつたけど二日間でおわらせました。その中でぼくかすごいと思つたピースは、ひかるピースです。それをいれるところがあちこちにあつてすごいです。ほのおもひかるし、トーチもひかるし、かぼちやもひかるし、いろいろなところがひかります。友だちも あそんでくれてよかったです。もつともつとむずかしいやつもやりたいです。

